

岡田謙三記念館

岡田謙三(1902-82)は東京美術学校(現・東京藝術大学)在学中にパリへ渡り、帰国後は二科会に所属し叙情的な雰囲気をもつ女性像で人気を得ました。1950(昭和25)年にはニューヨークに渡り、日本の伝統的な美意識に基づいたユーゲニズムといわれる独自の抽象表現で、国際的に高く評価された画家です。秋田市制100周年と千秋美術館の開館を記念して、きみ夫人からの寄贈などにより収集した作品を紹介しています。



岡田謙三《四季》1970年頃

- [I期] 4.26日-6.22日
- [II期] 7.19日-9.7日
- [III期] 9.27日-11.9日
- [IV期] 11.22日-2026.1.18日
- [V期] 1.31日-3.15日

秋田蘭画展示

18世紀後半に8代秋田藩主の佐竹義敦(号・曙山)と藩士の小田野直武らが、いち早く西洋絵画の合理的な視覚と写実的な表現を学んで描いた秋田蘭画の名品を、順次入れ替えて紹介します。

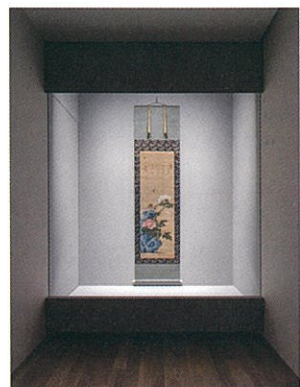


photo by Nacasa & Partners

- 4.26日-5.23日
- 5.24日-6.22日
- 7.19日-8.13日
- 8.14日-9.7日
- 9.27日-11.9日
- 11.22日-12.16日
- 12.17日-2026.1.18日
- 1.31日-2.19日
- 2.20日-3.15日

利用案内

開館時間: 午前10時~午後6時(入館は午後5時30分まで)

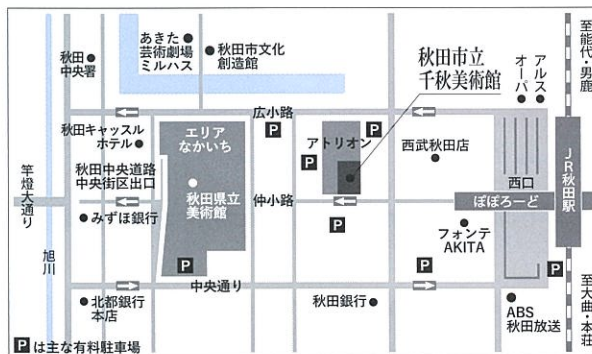
休館日: 年末年始 2025年12月29日(月)~2026年1月3日(土)
臨時休館 2025年4月1日(火)~25日(金)
6月23日(月)~7月18日(金) 9月8日(月)~26日(金)
11月10日(月)~21日(金)
2026年1月19日(月)~30日(金) 2月22日(日)
3月16日(月)~31日(火)

観覧料:【常設展】一般310円(250円) 大学生210円(160円)
【企画展】 展覧会によって異なりますが、常設展も併せて観覧できます。

- ()内は20名以上の団体料金、秋田県立美術館相互割引料金
- 障害者手帳等をお持ちの方、およびその介護者1名は観覧料を減免します。
- 教育活動の一環として利用する場合、事前の申請により、引率の教諭等(免除)、大学等の学生(半額)の観覧料を減免します。高校生以下は、申請無しでも無料です。
申請書は当館ホームページよりダウンロードください。

【年間パスポート】 一般3,000円 大学生1,500円

- 発行日から1年間、千秋美術館で開催する展覧会を何度でも観覧できます。



【電車】 JR秋田駅下車 西口徒歩約5分

【飛行機】 秋田空港よりリムジンバスで約40分、タクシーで約30分

【車】 秋田自動車道 秋田中央ICから車で約15分

※専用駐車場はありません。最寄りの有料駐車場をご利用ください。

※車いすでご来館の方はご相談ください。

秋田市立千秋美術館

AKITA SENSHU MUSEUM OF ART

岡田謙三記念館 KENZO OKADA MEMORIAL



〒010-0001 秋田県秋田市中通二丁目3-8(アトリオン)
TEL.018-836-7860 FAX.018-836-7862

EXHIBITION SCHEDULE

2025.4-2026.3



佐藤忠良《ボタン(大)》1967-69年



秋田市立千秋美術館

AKITA SENSHU MUSEUM OF ART

英国キュー王立植物園 おいしいボタニカル・アート 食を彩る植物のものがたり 4.26_田–6.22_日

イギリスでは諸外国との貿易や国内の経済発展などにより、世界中の新しい植物が持ち込まれ、食文化が多様化しました。本展では、22万点ものボタニカル・アート(植物画)を有する英国キュー王立植物園の協力のもと、野菜や果物、ハーブといった食用の植物を描いた18~19世紀のボタニカル・アートや、食卓を飾った食器、レシピ本など約190点により、イギリスの歴史や食文化、生活様式を紐解きます。



ゲオルク・ディオニシウス・エーレット
《ザクロ》1771年 キュー王立植物園蔵
©The Board of Trustees of
the Royal Botanic Gardens, Kew



クリストファー・ドレッサー(デザイン)、ミントン
《コーヒーカップ&ソーサー》1875年頃 個人蔵
Photo Michael Whiteway

■観覧料:一般1,300円(1,100円) 大学生800円(640円) 高校生以下は無料
※()内は20名以上の団体、前売、障がい者割引、「春の院展」および秋田県立美術館との相互割引料金

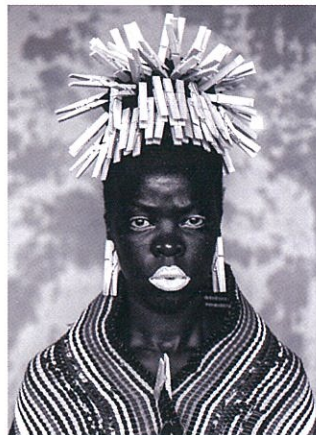
ミネバネ!現代アート タグチアートコレクション 7.19_田–9.7_日

会場:秋田県立美術館・秋田市立千秋美術館

タグチアートコレクションは、実業家の田口弘氏、娘の美和氏の2代にわたって収集された、世界各地の現代アート作品からなる国内有数のコレクションです。本展ではグローバルな視点で選り抜かれた、個性豊かな現代アートの世界を約100点により紹介。奈良美智、村上隆、マーク・クイン、キース・ヘリングら、グローバルに活躍する作家たちの多彩な作品を2つの美術館でご覧いただけます。



奈良美智《コズミック》2007年
©YOSHITOMO NARA



ザネレ・ムホリ《Bester 1, Mayotte》2015年
Image courtesy of Zanele Muholi, Southern Guild,
and Yancey Richardson
©Zanele Muholi

■観覧料:一般1,500円(1,200円) 大学生1,000円(800円) 高校生以下は無料
※()内は20名以上の団体、前売および障がい者割引料金

宇野亞喜良展 AQUIRAX UNO 9.27_田–11.9_日

日本を代表するイラストレーター、グラフィックデザイナーとして活躍し続ける宇野亞喜良(1934- / 名古屋市生まれ)の初期から最新作までの全仕事を網羅する、過去最大規模の展覧会です。本展では、刈谷市美術館の特別協力のもと1950年代の企業広告をはじめ、1960年代のアングラ演劇ポスターや絵本・児童書、近年の俳句と少女をテーマとした絵画まで、貴重な原画や資料から、宇野の華麗で耽美な創作世界に迫ります。



宇野亞喜良『さんのおの』原画 2017年
著:蜂飼耳、岩崎書店
©AQUIRAX



宇野亞喜良「Renaissance Collection」(マックスファクター)ポスター 1965年頃 刈谷市美術館蔵
©AQUIRAX

■観覧料:一般1,300円(1,100円) 大学生800円(640円) 高校生以下は無料
※()内は20名以上の団体、前売、障がい者割引および秋田県立美術館との相互割引料金

「視線」で楽しむ美術

11.22_田–2026.1.18_日

作品の人物、生き物の視線の向き1つで、表される感情や作品の印象が大きく変わります。また、作品には私たちの視線を何気なく導く工夫もなされています。所蔵品の魅力を、「視線」をキーワードにご紹介します。

■観覧料:一般500円(400円) 大学生300円(240円)
高校生以下は無料

※()内は20名以上の団体、障がい者割引および秋田県立美術館との相互割引料金



平福百穂《鉄線花》
1931年



金子義徳《舞台裏》1972年

寺崎廣業展—清らかに、雄大に—

1.31_田–3.15_日

幕末の秋田に生まれ、近代日本画創造の時代に活躍した、寺崎廣業(1866-1919)。卓越した画技に裏打ちされた作品は、歴史画、美人画、山水画と幅広い作域に及びます。秋田での修業時代から、写実と装飾を融合し独自の画境を拓いた晩年まで、所蔵品を中心にその芸術の魅力に迫ります。

■観覧料:一般500円(400円) 大学生300円(240円)
高校生以下は無料

※()内は20名以上の団体、障がい者割引および秋田県立美術館との相互割引料金



寺崎廣業《千紫万紅》1913年